

食育えほん

ちべるたん

あるところに、

ふとしくんという

男の子おとこがいました。

ふとしくんは、

ちべるたんという犬いぬを

かっけていました。

じつはちべるたんは、

おいしい食事しょくじのくくにからやってきた

ふしぎな力ちからをもつ犬いぬだったので。



ちべるたんは、文化をあらわすイタリア語「civiltà (チベルタ)」から、食育の“食文化を知る、楽しむ”という意味をこめて名づけました



ふとしくんはおやつが大好き。^{だいす}

たくさん食^たべちゃうから

ママが「ごはんよ」と呼^よんでも

「いらないいらない」

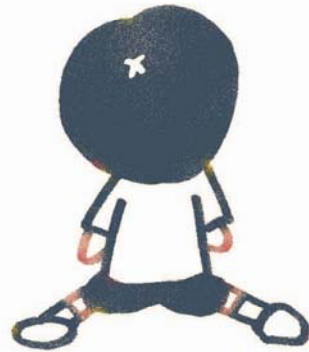
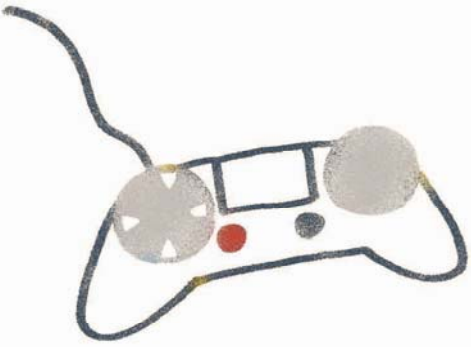




テレビを見たいし

ゲームもしたいから

「いらないいらない」



あれれ、

だけどさいきん

ふとしくんのおなか

ぽんぽこぽこりん。



それになんだか
イライライラリン。

キ



そしたら、ちべるたんがいったよ。

「それは、ごはんやお野菜やさいを

ちゃんと食たべないからだ。



かぞくといっしょに

食たべないと、イライラしてくるんだよ

「えー！そうなの!?!」

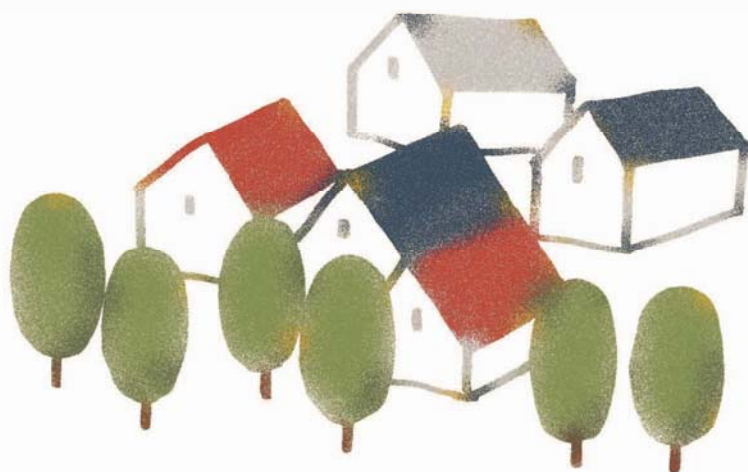




ちべるたんは

ふとしくんをつれて

お空へとびだしました。





「食^たべものは、いろいろな人^{ひと}が

いっしょうけんめい

作^{つく}ってくれるから

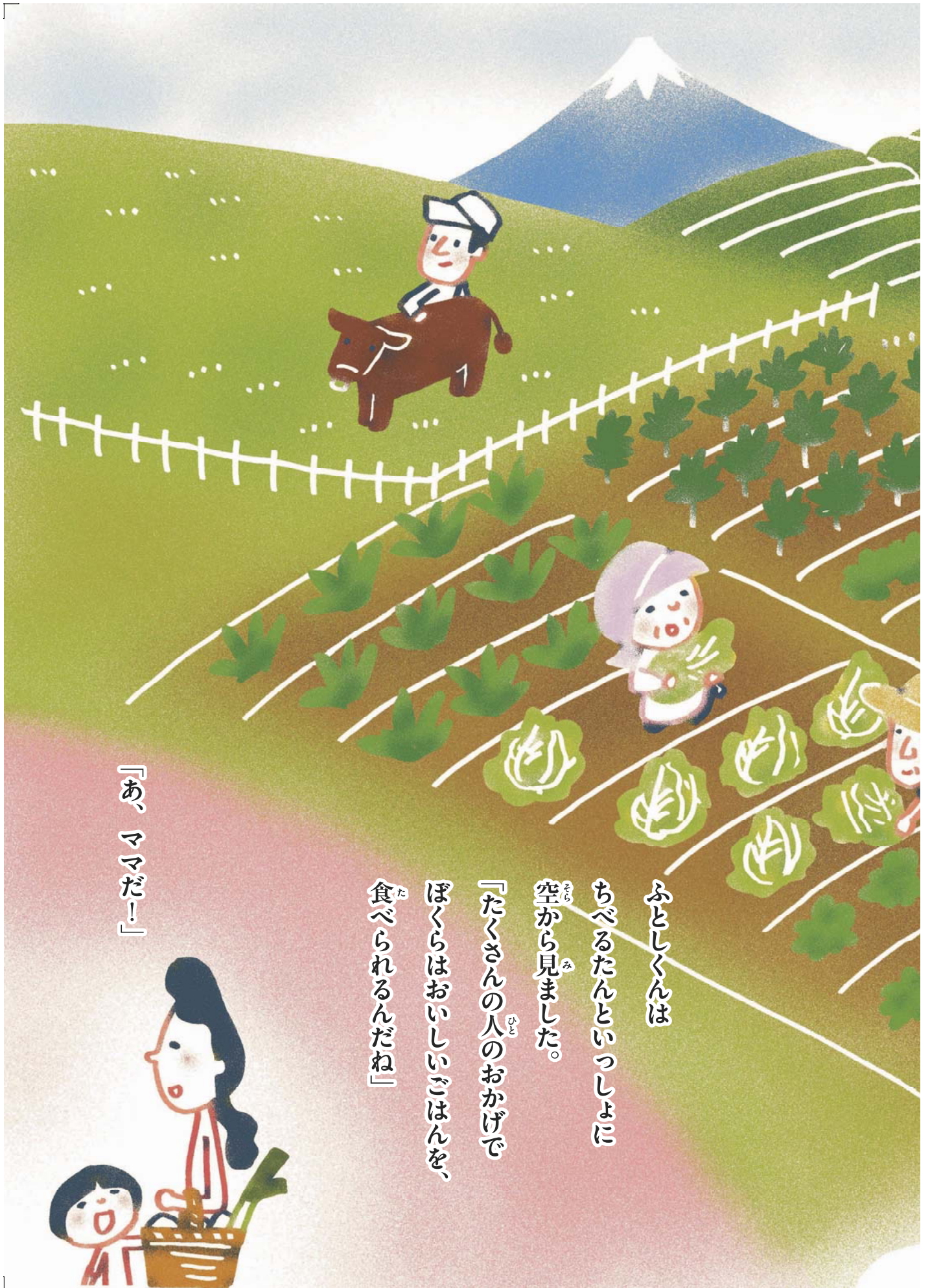
食^たべられるんだ」

お米^{こめ}や野菜^{やさい}をつくる人^{ひと}

牛^{うし}や豚^{ぶた}やにわとりを育^{そだ}てる人^{ひと}

魚^{さかな}をつかまえる人^{ひと}





「あ、ママだ！」

ふとしくんは

ちべるたんといっしょに

空^{そら}から見^みました。

「たくさんの人^{ひと}のおかげで

ぼくらはおいしいごはんを、

食^たべられるんだね」



「ママだって

いっしょうけんめい

ごはんを作^{つく}ってくれて

いるんだよ」

ふとしくんは

ありがとうの気^きもちで

むねがいつぱいに

なりました。





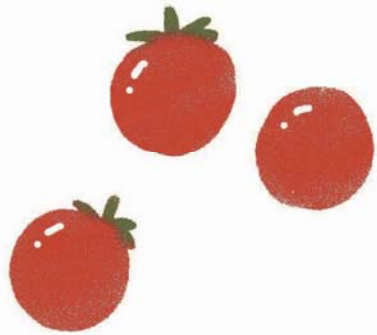
ふとしくんは

ニンジンをとんとん とんとん

トマトをプッチン プッチン

そしてお皿さしを出すのを手伝てつだいます。

「ぼくも
手伝てつだうよ」



さあ、みんなで
いただきまーす！

「これ、ぼくが切った
ニンジンだよ。

おいしいね！」

「手伝ってくれて

ありがとう」とママ。

「あしたも仕事から

早くかえってくるから、



「いっしょに食べようね」

とパパもにつこり。

ちべるたんもにつこり。

ふとしくんは

その日のことを

いっぱいおしゃべり。

あれれ、フシギと

イライラもなくなっちゃった。

みんなで食^たべるとおいしいね。

みんなで食^たべるとたのしいね。

